

1			
			16

基本的流れの考え方
(4x4マスの場合を例に)
偶数マスは考え方が難しい。

最初の数【1】と最後の数【16】は固定する。

1	2	3	4
13	14	15	16

【1】の端はマス目の数を加えた数を入れる。(この場合は4)
【16】の端はマス目の数を引いた数を入れる。(この場合は13)

1	15	14	4
13	3	2	16

4マスの合計は34であることがわかっているから、
【1】と【4】の間には合計【29】($34-1-4=29$)の数が入る。
1,4,13,16はすでに使用済みであるから、15と14しかない。
同様にして3と2が導き出される。(小さい数の隣は大きい数、
⇒大きい数の隣は小さい数、従って1の隣は15。16の隣は2)

1	15	14	4
12			
8			
13	3	2	16

4マスの合計は34であることがわかっているから、
【1】と【13】の間には合計【20】($34-1-13=20$)の数が入る。
1,2,3,4,13,14,15,16は既に使用済みだから、8と12もしくは
9と11しかない。
(⇒大きい数の隣は小さい数、従って1の隣は12。13の隣は8)

1	15	14	4
12			9
8			5
13	3	2	16

4マスの合計は34であることがわかっているから、
【4】と【16】の間には合計【14】($34-4-16=14$)の数が入る。
1,2,3,4,8,12,13,14,15,16は既に使用済みだから、5と9となる。
(⇒大きい数の隣は小さい数、従って16の隣は5を入れる)

4マスの合計は34であることがわかっているから、
【1】と【16】の間には合計【17】($34-1-16=17$)の数が入る。
1,2,3,4,5,8,9,12,13,14,15,16は既に使用済みだから、
6と11、7と10の組み合わせがあるが、【12】と【9】の間は
10,11は入れない(10の時3,11の時2が使えない)
また、【15】と【3】の間は($34-15-3=16$)なので6と10しかない。
双方の条件を満たすのは、【6】となり、残りの数が決定する。

1	15	14	4
12			9
8			5
13	3	2	16

1	15	14	4
12	6		9
8			5
13	3	2	16

1	15	14	4
12	6	7	9
8	10	11	5
13	3	2	16

1	15	14	4
12	6	7	9
8	10	11	5
13	3	2	16

完成 合計数= $4(4 \times 4 + 1) / 2 = 34$
縦、横、斜めの合計は全て34となった。

今回は、6×6マスについて掲示しますが、しばらく考えてみて下さい。